


## 発表者のご紹介 欄

発表カテゴリ	ワークショップ1
演 者	馬場保徳, 石川県立大学・講師 
演 題	エネルギーをつくり, 植物病原菌の生育を抑制する微生物コンソーシア
内 容	メタン発酵という言葉を目にしたことはあるでしょうか? 数千種を超える微生物が連携しながら, 有機性廃棄物からメタン (=都市ガスの主成分) を生産することを指します。再生可能エネルギーとしても知られます。今回の発表では, わたしに取り組む「牛のルーメン微生物を使って, 効率よくメタン生産する研究」と「その発酵後の残さ液を, 農作物の肥料兼微生物農薬として活用する研究」について紹介します。
演者のプロフィール	複数の微生物からなる微生物集団 (コンソーシア) を, 主な研究対象としています。  (1) <u>牛のルーメン微生物を用いたメタン発酵効率化</u> 2011年の震災の経験を経て, 停電を伴う災害時に, 雑草から電気を生産できるよう, 雑草を原料にしたメタン発電について, 研究を進めています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>Microbes Environ.</i> 34(4), 421-428, 2019.</li> <li>• <i>Journal of Bioscience and Bioengineering</i> 123(4), 489-496, 2017.</li> <li>• <i>Bioresource Technology</i> 128. 94-99, 2013.</li> </ul> (2) <u>マウスやヒトの腸内細菌叢解析</u> マウスやヒトの腸内細菌叢解析を担当し, 機能性食品の評価をしています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>Canadian Journal of Microbiology</i>, 66(999), 1-10. 2020.</li> <li>• <i>Medical Gas Research</i>, 8(1), 6. 2018.</li> <li>• <i>Journal of nutritional science and vitaminology</i>, 63(4), 269-276. 2017</li> </ul>